

祝敬老の日

おめでとうございます!!

夫婦そろって九十一才

武分庄次郎さんご夫妻(右原)

実りの秋を迎えた九月十三日、大代町では新しく七十才を迎えられた十四名の方々を併せて一五〇名の方を対象に敬老会が開かれました。

病氣其の他で三十六名の欠席は有りましたが一一四名の方々が元気で参加され、大変賑やかでした。

▲米寿の祝(八十八才)

川上：山下 金作、植松：後藤 庄正

川上：渡井 義雄、

▲喜寿の祝(七十七才)

上飯谷：竹内マツ子、川上：鈺 斉

山田：谷口 通雄、下市：森 サナヨ

四日市：竹本 浅市、下市：板倉フサヨ

山田：坂本キヨノ、植松：山根 正義

椿：谷口タマノ、

以上の方々が御祝を受けられました。が未だ一家の働きの中心で頼もしい限りです。

◆男女別・年令別集計は次の通りです。

年代別 男女別	九〇才代		八〇才代		七〇才代		合計
	男	女	男	女	男	女	
計	三	二	一八	三〇	四四	六五	九七
男							五三
女							八五
計	五	四八	九七	一五〇			

◇最高令者

男 下谷 舟木近太郎 九十二才
女 本郷 日向 夏代 九十二才

◆夫婦そろっての最高令者

右原 武分庄次郎 九十一才
マタヨ 九十一才

敬老の日に

—米寿を迎えて—

植松 後藤 庄正



皆様お目出とうございます。幸い今日は天気もよく敬老の日には持つて来いの日和でございます。私は此の度、米寿の祝をして戴く事になりました。喜寿をお祝いして戴いた時、八十八迄はとても生きられん、之が最後だと思いましたが。しかし今の状態では百寿迄行けるかも知れません。ハハハ……

人間誰しも楽しい日ばかりはありません。雨の日・風の日があるように嬉しい事、悲しい事、腹の立つ事、いろいろとあります。でも私はすぐ思いません。今私は何で腹を立てているのか考えてみれば人様ばかりが悪いのではありません。此方にも否はあります。

反省という事も大切な事だと思えます。いつ迄も根に持って、口も利かないような人は不幸な人だと思います。笑って暮しませう。笑う門には福が来る」と言うではありませんか。又と来られない此の世を一日でも長く、楽しく笑って送ろうではありませんか。夫婦二人して百才まで頑張るつもりで居ります。

二人して米寿の祝ひ有難や

百才迄も生きたく思う

(植松 後藤 フサミ)

喜寿を迎えて

—金婚の祝も併せて—

四日市 竹本 浅市

昭和六十二年度は私にとって当り年です。結婚五十年の年月を送り、其の間一

男二女を育て七人の孫を見る事が出来ました。去る六月寿会総会には会より賀詞を受けました。

又敬老の日には喜寿を迎えさせて頂き本当に有難く思つて居ます。しかも元気で毎日農作業が出来るのがなによりです。先日婦人会長が来られて、おじさん句が好きなので一句書いてくれと言われたので、一句書かせて頂きます。少しまげておくので？見て下さい。

喜寿に当つて
オカイキ
長寿（長い木）が健康綱に引っぱられ

喜寿を迎えた母に思う

下市 森 守

喜寿を迎える年と成りました。ともあれ、おめでとろございます。私共をここまで大きく育ててくれた事を心より感謝致します。

母は子供を育てる事だけに此の世に生れて来たように必死に野良仕事や土方に明け暮れる毎日であつたように思えて、母の手のしわや顔のしわを見る度に母さんありがとう!! 母に向つて云えないけれど感謝しております。本当に大変でしたでしょうね。下着など

いつもおさがりばかりでいじわる云つたりして!! 今、我が子を育てる身と成つて漸く痛感しておる次第であります。

昭和四十二年の姉の結婚式の帰り、乗り物に弱い母を父と共に初めて飛行機に乗せて上げたのが、何よりの親孝行でした。今私共が親の身と成り何一つして上げられないけれど、母のそばにいて上げられるだけで幸せに思つております。これと云つてわずらう事の少なかつた母さん!!

どうかいつまでも元気で私共に色々教えて下さい!! 子育てと働く事だけの人生だった母に残り少ない人生を大切に楽しく送つてほしい!! 母さんの手のしわの一つでも二つでも貰つて頑張つて行きたいと思つております。最後に喜寿を迎えた母にまずはおめでとろ!! いつまでも元気で長生をして下さいね!!

過去四十年を

今振り返つて



本郷 増田 長之助

今年初めて敬老会に御案内頂く年に

なりました。

支那事変・大東亜戦争に参戦し、帰国出来た数少ない同期の戦友達が四十年の間に苛酷な戦に傷つき体調をこわすなどで亡くなられ、戦友名簿から名前が消えて行き何か淋しい思いをしています。幸いに私、健康でこうして敬老会にお招き頂く事を感謝しています。

敬老の日は「多年にわたり社会の為につくされた老人を、国民こそ敬愛し長寿をお祝いする日」とありますが、吾身を思ひますと戦後、育児と生活の明け暮れで何のなす事もなく、いたずらに年を取つただけ、お招き頂くのも恥ずかしく、てれ臭い気持であります。

今後は只皆様に御迷惑をかけることのないよう健康に注意して、日々を過したいと願っています。

敬老の日

— 私のおばあさん —

小五年 竹内 美紀

私のおばあさんは、八十三才です。私より背が低くて、背中が曲がついて

ます。だけど、毎日元気に畑や田んぼに出かけています。私が学校から帰っても、まだ帰っていないときがあるのでも、まだ働いているのかなあと思っています。少し心配することもあります。

おばあさんは、毎日、新聞を読むので、いろんなことを良く知っています。テレビの中では、すもうと連想ゲームと歌が好きで、良く見えています。朝は早くからテレビを見て、雨の降る日などは、私に、

「かきを持って行った方がいいよ。」と言ってくれます。おばあさんのおかげで、ぬれずにすんだことが良くあります。

おばあさんは、お母さんの作ったおかずは、何でも食べます。好ききらいがないので、元気なのだと思います。

おばあさんは、とてもやさしいです。大家に買い物に行くときも、何でも買ってきてくれます。それに、こつこつと働いて、とても元気です。

これからも元気で、やさしいおばあさんでいて欲しいです。私が大きくなるまで、ずっと元気で長生きをして下さい。

おばあさんが 作ってくれる わらざうり

中二年 森 義博

ぼくのおばあさんはとても元気で、毎日、畑や田んぼに出てはたらいておられます。そして、ぼくたち兄弟の食事のせわをしてもらったり、他にもいろいろなることをしてもらっています。

ぼくのおばあさんが、毎年欠かさずにやっておられることの一つに、ぼくたち大代中学校田植え愛護少年団員のわらざうりを作ることがあります。ぼくたちは、毎年、三回ほど田植え囃子の公演で、町内を歩いたりするのでわらざうりはすぐに切れたり、いたんだりしてしまいます。

それで、ぼくのおばあさんは、毎年秋の稲かりが終わったあとや、田仕事のない冬の間に、家の近くの納屋で、いっしょにわらざうりを作っています。夏には学校まで届けてくれます。

今年も、敬老会に、ぼくたちの田植え囃子をします。おばあさんが、いっしょにわらざうりを作ってくれたわらざうり

りをはいて、すばらしい公演をするつもりです。これが、ぼくのおばあさんへの精一ぱいの感謝の気持ちです。

おばあさん、ぜひぼくたちのせい一ぱいのおどりを見てください。そして来年も元気でわらざうりを作ってください。

都市交流

— 思い出多いふるさと —

東京石見高山会 市原成臣

冠省 今回大代町主催の「都市とふるさとを結ぶ交流の会」に参列のため五年ぶりにわが生れ故郷に帰省し、全く感動しました。先ず町の道路いっばいに張られた「ようこそ、ふるさとへ」の横断幕に、「やったな」と快哉。そして街路の両側のところどころに美しく咲いている花々、「これが田辺孝元先生の花いっばい運動か」と感心しました。

ことに14・15の二日間にわたる心こもった催し物ともてなしに、感嘆をとおりにして、思わず感涙にむせびました。

歓迎の辞や挨拶は型どおりとして、



その間にアトラクションとして、一時間以上におよぶ大代田植ばやし。つづいて神楽舞、しかも「大江山酒呑童子」など動きの激しいハイライトを数番見せられ、ありし日の少年の頃を思い出すことしきりでした。

夜は盆おどり、これまた懐かしく、そして大勢の人々に久しぶりでお会いできて、大変嬉しかったです。

「盆と正月が一緒にきた」という、賑やかで楽しかったことに対する表現があります、今回はその二つに「祭り」が加わり、「盆と正月にお祭り」まさに三者一体の喜脱の境地でした。おかげで「帰郷してよかったな」という思いと同時に、「長生きしてよかったな」と。今更のごとくわが年をふりかえり、切実に感動しました。

以上の二日間にわたる行事・催し物にたずさわった人びと、公民館・自治会・婦人会・青年団・中学校その他の方々に厚くお礼を申しあげると共に表面には出られなかったけれど、あれだけの効果と成功のかけには、あそこまで持ってきた先輩格のベテランの各氏、オービーの諸子に「よくもまあ！

ご苦勞さまでした」と、おねざらいますと同時に心から深く感謝します。ありがとうございます。

都市交流を終えて

婦人会長 後藤 マサエ

ふるさとと都市を結ぶ交流会は本年は一段と盛大だったことを、お喜び申し上げます。

(一) 私の一ばん嬉しかったことは、

お盆の行事のたくさんある中を私事をおさえ公に活動下さったことです。これひとえにご主人様はじめご家族の協力のおかげでございます。本当にありがとうございます。

(二) 暑い最中のことです。両日共料理を心して作ってくださったお蔭で食

中毒者もなく全員健康であったこと。

(三) 会員が互いに譲りあつて早朝から夜にかけてお世話いたゞき、その料理が「大変おいしかった。」と誉めてもらったこと。

(四) 帰省された方々や地元の方からも「よくやった。」と、心温まるお言葉をいただいたこと。

(五) どのアトラクションも演出が素



晴しかったと嬉しいことが一杯でした。来年のことを言えば鬼が笑うといいますが、来年は一日になるそうです。私達婦人の役が充分に発揮できますように今から野菜作りに山菜摘みに励んで下さいませ。

ご協力心からお礼申し上げます。

お知らせ

8月13日、都市交流の際、館報ひろばに寄せて、公民館へ次の方々から過分のご寄附並激励を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

東京・田中公道様、東京・木川一恵様

米原光義様、窪田忠雄様

九州・山根昇様、九州・山根美紀子様

山根明雄様、山根美恵子様

山根公雄様

江津・魚本一人様、鳥取・板垣嘉子様
(旧姓竹内)

◇赤ちゃん誕生

おめでとうございます!!

下市 和泉源太 聡也 君
" まゆ子

9月 少年健全育成指標

お年寄りを大切にしよう。